

【科目名】	医学概論	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	吉田 望 (理学療法士):医療機関にて26年実務経験 高村 真司 (理学療法士):医療機関にて14年実務経験			
【講義期間】	2年次前期		【対象学生】	第2学年 理学療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	9 : 00 ~ 10 : 30 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	健康、疾病及び障害について、その予防と発症・治療、回復過程に関する知識を習得し、理解力、観察力、判断力を養うとともに、高度化する医療ニーズに対応するため栄養学、画像診断学、救急救命医学等の基礎を学ぶ。						
前提知識	専門基礎分野における「解剖学」「生理学」から学ぶ人体の構造と機能の基礎知識 消化・吸収を含む人体の運動生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標	栄養、医用画像、救急救命及び予防の基礎の習得						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
6月2日	1	栄養学の基礎①	三大栄養素 エネルギー	吉田
6月16日	2	栄養学の基礎②	リハビリテーションに必要な栄養学	吉田
6月26日	3	救急救命の基礎①	意識状態(JCS、GCS)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数) 心肺蘇生法、BLS(一次救命処置)、AED、回復体位	吉田
6月30日	4	救急救命の基礎②	意識状態(JCS、GCS)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数) 心肺蘇生法、BLS(一次救命処置)、AED、回復体位	吉田
7月1日	5	画像の見方①	単純X線、CT、MRI 各臓器・骨格の名称と構造	高村
7月1日	6	画像の見方②		高村
7月8日	7	画像の見方と診断①	整形外科疾患、中枢神経疾患、内部疾患等の各疾患の基礎と特徴	高村
7月8日	8	画像の見方と診断②		高村
7月15日	9	まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	PT・OTのための画像診断マニュアル 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 標準理学療法学・作業療法学 生理学第5版			
授業に必要な物	PC、プロジェクター、全身骨格の模型、臓器の模型			
備考				

【科目名】	理学療法各論VI(発達障害)	専門分野(1単位)	【講師名】	渡辺似望(理学療法士):医療機関にて11年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業 内容・目標	正常運動発達と小児疾患に対する理解と国家試験対策						
前提知識	デンバー式発達スクリーニング検査および遠城寺式発達検査について 発達障害を理解する病理的知識について						
【実施形態】	講義()		演習(○)		実習()		
到達目標	国家試験に必要な知識を身に付ける						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	10	90				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○	○				
	知識・理解	○	○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月14日	1	正常運動発達	反射中枢、出現時期、反射の形式	渡辺
4月14日	2	正常運動発達と評価	新生児期からの発達	渡辺
4月14日	3	異常姿勢反射とその見方	正常運動発達を阻害する反射	渡辺
4月14日	4	正常運動発達の国家試験問題	国家試験過去問	渡辺
4月20日	5	脳性麻痺総論	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月20日	6	脳性麻痺痙直型	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月21日	7	脳性麻痺アトニー型	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月21日	8	脳性麻痺の国家試験問題	国家試験過去問	渡辺
4月21日	9	脳性麻痺の国家試験問題	国家試験過去問	渡辺
4月21日	10	ダウン症・二分脊椎等・その他小児疾患	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月28日	11	まとめと評価		渡辺
7月27日	12	発達障害について①	人間発達と障害の流れについて	渡辺
7月27日	13	発達障害について②	人間発達と障害の流れについて	渡辺
7月28日	14	発達障害について③	人間発達と障害の流れについて	渡辺
7月28日	15	発達障害について④	人間発達と障害の流れについて	渡辺
教科書 参考書	PT・OT国家試験 必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 医歯薬出版株式会社			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	理学療法 各論Ⅷ(疾患別)	専門分野 (2単位)	【講師名】 高村 真司(理学療法士):医療機関にて14年実務経験 渡辺 似望(理学療法士):医療機関にて13年実務経験				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】 第3学年 理学療法学科				
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】 9:00～17:00 (他時間割参照)				
授業 内容・目標	各教員がケースバイザーになり、学生個人個人に指導を促し、理学療法の一連の流れを理解する。						
前提知識	1年時～2年時終了までの知識や疾患の捉え方など総合的な知識、思考が求められる。						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	理学療法の一連の流れについて理解を深める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		○				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○					
	思考・推論	○					
	実践・表現	○					

授業計画				
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月4日	1	三科目復習	模試の振り返り①	高村
4月4日	2	三科目復習	模試の振り返り②	高村
4月5日	3	三科目復習	模試の振り返り③	高村
4月6日	4	三科目復習	模試の振り返り④	高村
4月6日	5	病理学	総論、病因	高村
4月7日	6	病理学	奇形、循環障害 変性疾患、炎症	高村
4月12日	7	病理学	腫瘍、骨・関節疾患	高村
4月13日	8	病理学	神経・筋疾患、感染・感染症対策	高村
4月13日	9	リハビリテーション概論	総論	高村
4月14日	10	リハビリテーション概論	ADL・QOL	高村
4月15日	11	リハビリテーション概論	法律 ICF、その他	高村
4月15日	12	中枢神経疾患・筋疾患	疾患の概要、評価、治療について	高村
4月18日	13	中枢神経疾患・筋疾患	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月19日	14	中枢神経疾患・筋疾患	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月20日	15	中枢神経疾患・筋疾患	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月20日	16	一般内科	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月21日	17	一般内科	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月22日	18	一般内科	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月22日	19	整形外科	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月27日	20	整形外科	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月27日	21	整形外科	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
4月28日	22	整形外科	疾患の概要、評価、治療について	渡辺
5月6日	23	まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	それぞれに必要な文献、教科書等			
授業に必要な物				
備考	教員とコミュニケーションを取りながら各疾患についての理解を深めていくよう行動すること。			

【科目名】	理学療法管理学	専門分野(2単位)	【講師名】	渡邊好孝(理学療法士) 吉田望(理学療法士):医療機関にて26年勤務			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15 回)		【時間帯】	(他時間割参照)			
授業 内容・目標	医療保険制度、介護保険制度を理解し、職場管理、理学療法教育に必要な能力を培うとともに、職業倫理を高める態度を養う。						
前提知識	理学療法概論で学んだ理学療法としての適性について理解していること。 医療保険制度、介護保険制度の基礎を理解していること。						
【実施形態】	講義(○) 演習() 実習()						
到達目標							
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				50%	50%	
	実施時期				全ての授業終了後	随時	
	補足				レポート課題	態度と内容	
	関心・意欲					○	
	知識・理解				○		
	思考・推論				○	○	
	実践・表現				○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	管理者に必要な能力	管理能力	渡邊
	2	管理者に必要な能力	管理能力	渡邊
	3	人を管理するとは	人の評価	渡邊
	4	人を管理するとは	人の評価	渡邊
	5	理学療法士の未来像	職能団体としての責務	渡邊
	6	病院や職場を評価するとは	自分を評価・管理する	吉田(望)
	7	病院や職場を評価するとは	SWOT分析、管理手法、OJT、Off-JT、マネジメントとは	吉田(望)
	8	病院や職場を評価するとは	EBMとNBM	吉田(望)
	9	感染予防	標準予防策(スタンダードプリコーション)、感染対策委員会	吉田(望)
	10	感染予防	手洗いの仕方	吉田(望)
	11	リスクマネジメント	インシデント、ひやりはっと	吉田(望)
	12	リスクマネジメント	医療安全管理委員会	吉田(望)
	13	記録の管理・診療報酬の管理	SOAP、診療報酬、介護報酬	吉田(望)
	14	教育管理	クリニカルラダー	吉田(望)
	15	教育管理	プレゼンテーション能力	吉田(望)
教科書 参考書				
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	総合理学療法学	専門分野（2単位）	【講師名】	高村 真司(理学療法士):医療機関にて14年実務経験 東海林 智也(理学療法士):医療機関にて16年勤務経験			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	15時間（2時間 8回）		【時間帯】	9：00～12：10（他時間割参照）			
授業 内容・目標	実習を通し、経験・学んだ症例を通して、1年次から3年次まで学習した知識の総復習を行う。また、同時に再度症例に対して考察・実施内容の再検討を行う事で、知識の定着を図り、今後の臨床に繋げられるよう学習する。						
前提知識	1年次から3年次までの基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識						
【実施形態】	講義（○）	演習（ ）	実習（ ）				
到達目標	各分野についての知識の定着 各疾患における知識の応用能力の習得						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時			当科目内	
	補足	質疑応答など	障害像など				
	関心・意欲	○	○			○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論		○			○	
	実践・表現					○	

授業計画				
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	理学療法と研究①	症例に対する一般・社会的・医学的情報の整理と解釈 理学療法評価からの解釈・統合と妥当性の検討 理学療法評価からの治療選択と妥当性の検討 治療実践における経過からの解釈と妥当性の検討 介入開始から終了までを通した、症例における解釈と考察 介入終了後における予後・生活面を含めた解釈と考察	高村
	2	理学療法と研究②		高村
	3	理学療法と研究③		高村
	4	理学療法と研究④		高村
	5	研究と解釈①		高村
	6	研究と解釈②		高村
	7	研究と解釈③		高村
	8	研究と解釈④		高村
	9	理学療法研究の展開①		高村
	10	理学療法研究の展開②		高村
	11	理学療法研究の展開③		東海林
	12	理学療法研究の展開④		東海林
	13	理学療法における知識の整理:基礎知識①	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識 理学療法を行う上で必要な知識全般 (解剖学・生理学・運動学 他)	東海林
	14	理学療法における知識の整理:基礎知識②		東海林
	15	理学療法における知識の整理:基礎知識③		東海林
	16	理学療法における知識の整理:基礎知識④		東海林
	17	理学療法における知識の整理:基礎知識⑤		東海林
	18	理学療法における知識の整理:専門知識①	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識 理学療法を行う上で必要な知識全般 (整形外科疾患・中枢神経疾患・内部障害 他)	東海林
	19	理学療法における知識の整理:専門知識②		東海林
	20	理学療法における知識の整理:専門知識③		東海林
	21	理学療法における知識の整理:専門知識④		東海林
	22	理学療法における知識の整理:専門知識⑤		東海林
	23	理学療法における知識の整理:専門知識⑥		東海林
		まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	1年次から3年次までに使用した教科書と参考書			
授業に必要な物				
備考	ディスカッションは積極的に参加する事。また授業外で知識の復習を積極的に行う事。			

【科目名】	臨床実習Ⅱ－①	専門分野（9単位）	【講師名】	実習調整：高村 真司(理学療法士)：医療機関にて14年実務経験 木幡 博人(理学療法士)：医療機関にて18年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	360時間		【時間帯】	9：00～17：00(他時間割参照)			
授業 内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義（ ） 演習（ ） 実習（ ○ ）						
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画					
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
5 / 2 3 / 7 / 2 2	1	臨床実習Ⅱ－①			
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類				
授業に必要な物					
備考					

【科目名】	臨床実習Ⅱ－②	専門分野（8単位）	【講師名】 実習調整：高村 真司(理学療法士):医療機関にて14年実務経験 木幡 博人(理学療法士):医療機関にて18年実務経験				
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】 第3学年 理学療法学科				
【時間数】	360時間		【時間帯】 9：00～17：00(他時間割参照)				
授業 内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義（ ） 演習（ ） 実習（ ○ ）						
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	

授業計画					
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
8 / 2 2 5 1 0 / 2 1	1	臨床実習Ⅱ－②			
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類				
授業に必要な物					
備考					